

政策・制度要求と提言を 大澤知事へ提出

雇用・労働と福祉・社会保障の充実を！

群馬県の平成26年度予算編成に向け、8月28日に群馬県庁において県民11,030人の意識調査集計結果を基に策定した「2014年度政策・制度要求と提言」を大澤知事へ提出しました。



大澤知事へ要求書を手渡す
北川会長（左）

連合群馬議員懇の県議が同席する中、北川会長から大澤知事へ提言書を提出し、政策担当の新井副事務局長から、非正規労働者を正社員とした場合の税制優遇や、積極的な企業誘致などの『雇用・労働』



要求内容を説明する
新井副事務局長

の分野と、生活困窮者への支援・対策、子ども・子育て支援の推進などの『福祉・社会保障』の2分野を重点に据えた、8分野22項目について説明し、その後、意見交換を行いました。

大澤知事からは「毎年1万人を超える県民からのアンケートを基に、広範囲にわたる貴重な提言をいただき感謝いたします。多くの県民の声と受け止めしっかり対応したい。」とのあいさつがありました。

また、障がい者法定雇用率を上回る取り組みや介護労働者の労働環境の改善などについて、県ならびに連合群馬との連携の強化に向け意見交換を行いました。

今後は、各地域協議会から県内35市町村に政策要求を提出し、連合の要求実現に向け、取り組みを展開していきます。

【意見交換内容（抜粋）】

連：連合群馬 知：知事 県：県担当課

障がい者雇用関係

連：障がい者雇用については、行政・民間の実例など意見交換の場を設け、事例の水平展開が必要ではないか？

県：県庁舎では、高等養護学校の生徒をインターンシップとして受け入れ、各課への文書配達などの業務を体験していただいている。また、障がい者雇用支援員を配置し、民間企業への働きかけも行っている。

介護労働者関係

連：連合の相談ダイヤルへは、厳しい就業実態の相談が寄せられている。県が認可した施設への対策強化が必要ではないか？

知：年度末の監査など厳しく行っているが、新たな介護サービスの参入により、問題が多様化している。解決に向け、今後もしっかりと取り組んでいく。



県議も同席しての意見交換

2014年度政策・制度要求と提言【抜粋】（詳細はHPを参照ください）

【雇用・労働】

1. 県内の雇用確保と中小企業支援
2. 立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり
3. 介護労働者の確保や労働条件・職場環境の改善
4. 障がい者法定雇用率の遵守

【福祉・社会保障】

1. 新たな生活困窮者への支援・対策
2. 保育サービスの抜本改善と社会全体による子育て支援
3. 地域医療体制の強化・拡充
4. 一人暮らし高齢者などの安否確認における対策

【行政運営】

1. 公契約条例の制定
2. 防災対策の充実
3. 第14次群馬県総合計画の検証

【教育】

1. 子どもたちの心身を守る教育の推進
2. 家庭・学校・地域一体となった子育て・教育の推進
3. キャリア教育の推進

【防犯・安全】

1. 犯罪の防止に向けた環境整備の推進
2. 交通事故防止に向けた取り組み強化

平和行動 in 根室 返還要求を続けていく！



平和ノサップ集会へ参加

北方四島の返還を求める平和行動in根室が9月13日～16日に行われ、納沙布岬で開催された2013平和ノサップ集会や北方四島学習会へ産別、県連合から10名が参加しました。

連合主催の平和ノサップ集会では、南雲事務局長を始め、地元議員や元島民による、北方四島返還を求めるこれまでの歴史や現在の状況の話があり、今なお続く苦しみと向き合いながら、返還への取り組みを継続していくことをアピールし、参加者全員で決意を再確認しました。北方四島学習会では、元島民の方から、終戦後ソビエト軍が侵攻し、追い出された当時の悲惨な様子や、領土問題を通じて、二度とこのようなことを起こしてはいけないとの平和に対する思いを聞きました。

参加者からは、「ソビエト軍侵攻によって、何の罪も無い多くの人たちが財産を奪われ、命を落としたことを聞き、平和の大切さを再認識しました」との感想がありました。



北方四島の歴史を学ぶ

連合群馬・愛のカンパ浄財を寄贈

9月10日、群馬県勤労福祉センターで連合群馬・愛のカンパの贈呈式を行い、助成6団体から代表者が出席し、北川会長より目録を手渡しました。



北川会長と各団体の代表

各団体の代表からは「震災による被災者支援に役立ってます」、「障がい者の支援に充てることができ、助かります」とお礼の言葉が述べられました。

この「連合群馬・愛のカンパ」は、12地協が中心となり、駅頭や街頭、イベントなどで県民に呼びかけた他、組合員からいただいた浄財を基に、地協推薦による、県内で活動しているNPO団体やボランティア団体へ寄贈しています。ご協力いただきました、多くの組合員や県民の皆さまに感謝申し上げます。

2013年の寄贈団体

団体名	推薦組織
桐生みやま園（パン工房みやま）	桐生地協
きりゅう市民活動推進ネットワーク	
特定非営利活動法人 はたおと	
NPO法人 利根沼田地域ボランティアセンター（通称：ごったく広場）	沼田地協
NPO法人 ほけっと	藤岡地協
群馬いのちの電話	連合群馬

ヨガでリラックス！ランチで楽しく会話

女性組合員が組織の枠を超えた交流をはかるため、「ヨガ講座＆ランチ交流」を9月14日前橋商工会議所会館で開催し、産別、地協から78名が参加しました。



呼吸を整えてリラックス

ヨガ講座では、全日本ヨガアライアンス協会公認インストラクターの今井淳子さんを講師に招き、様々なポーズと呼吸法について学び、リラックスした時間を過ごしました。

ランチ交流会では、連合群馬や女性委員の所属する産別・単組の活動紹介を行うとともに、日頃出会うことのない人たちと、職場環境や組合活動などの情報交換やヨガ講座の感想などの話題で交流をはかりました。参加者からは、「リラックスもでき、周りの人とも交流ができてよかった」「女性の働く環境について他社の現状を知ることができた」などの感想がありました。

初開催となった本イベントは、女性組合員が組合活動へ気軽に参加してもらうために連合群馬女性委員会が主体となった取り組みです。今後も様々なイベントを企画しますので、積極的な参加をお願いします。



食事しながら楽しく交流

青年・女性の声を民主党青年部へ

青年・女性の意見を政治へ反映させるため、民主党青年部と連合群馬青年・女性委員会との意見交換会が、9月7日にアニバーサリーコートラシーネで開催され、民主党青年部から6名（後藤・小川・あべ県議、三森前橋市議・林高崎市議・青木氏）が出席、青年・女性委員会から8名が参加しました。

3つのテーマについて、グループワークを行い、「若者が政治へ関心を持ち、投票に行ってもらうには？」のテーマでは、「20歳の時、親に連れていかれた」、「職場の仲間から声をかけられた」など、投票に行くきっかけがあげられ、「職場での声かけや学校教育で投票の大切さを伝えることや自分達から若年層の仲間に声をかけていこう」との意見があげられました。



積極的に発言する増田委員

<おしらせ> 第18回年次大会

- とき 10月26日(土)13:30～
- ところ 伊勢崎市境総合文化センター
- 内容 活動報告、決算・監査報告、活動方針(案)、予算(案)